

# 第1版

## 株式会社 富士通ビー・エス・シー

## はじめに

F\*TRAN+(エフトラン・プラス)は、汎用機/オフコン/Unixなどのホストのファ イル転送データと、パソコンの標準であるWindowsファイルとのデータ交換をする汎用性 の高いファイル変換ユーティリティです。Windowsファイル間のデータ変換もできます。

Windows98/95 または WindowsNT/2000上の32ビットアプリ ケーションとして動作します。

ソースプログラム、バイナリファイル、ランダムファイル、プリント形式ファイルなどを変換 する基本機能に加え、コンマ区切り(CSV)形式対応など、市販ソフトとのデータ交換に適し た強力なデータ加工・編集機能を備えています。また、各種漢字コードに対応し、拡張漢字にも 本格対応しています。さらに、COBOLの数値項目等(ゾーン形式、パック形式、2進形式、 BCD形式)にも対応しています。

F\*TRAN+は、さまざまなホストとパソコンの連携利用を強力に支援します。その高い汎 用性、高性能、高機能が有効に活用されることを願ってやみません。

F\*TRAN+のマニュアルには、導入編(本書)解説編、コマンド編、マルチレコード編、 プログラム応用編があります。導入編(本書)の構成はつぎのとおりです。

第1章 インストール

「インストール」の方法を説明しています。

第2章 セットアップ

各種ホストに適合させる「セットアップ」の方法を説明しています。

第3章 システム構成

動作OS、動作環境について説明しています。

第4章 バージョンアップ内容

バージョンアップ内容を説明しています。

第5章 タッチ&トライ

F\*TRAN+の操作を実習します。

- 第6章 サポートについて
  - F\*TRAN+のサポートについて説明しています。

All Rights Reserved, Copyright<sup>©</sup> Fujitsu B S C 1997-2000

# 第1章 インストール

目

1.1	パッケージ内容	2
1.2	ハードディスクへのインストール	3
1.3	アンイストールの実行1	3
1.4	オンラインマニュアルについて2	0

# 第2章 セットアップ

2.1	セットアップとは	
2.2	コード変換表とは	
2.3	コード変換表の出荷時設定	
2.4	セットアップの手順	
2.5	ホスト選択	
2.6	変換設定	

# 第3章 システム構成

3.1	動作OSと動作環境	4 2	2

# 第4章 バージョンアップ内容

4.1 バージョンアップ内容	4	4	ļ
----------------	---	---	---

# 第5章 タッチ&トライ

5.1 ホスト Winファイル変換	4	ļ	6	1
-------------------	---	---	---	---

# 第6章 サポートについて

6.1	サポートについて	5	6	,
-----	----------	---	---	---

第1章

インストール

第1章 インストール ----

# 1.1 パッケージ内容

インストールの作業をはじめる前に、本製品のパッケージ内容を頭に入れておいてください。

本製品のパッケージ内容は以下のとおりです。

操作説明書・導入編

操作説明書は5分冊構成になっており、提供CD-ROMにオンラインマニュアルとして格納 されていますが、導入編は冊子として標準添付されています。

(1) F\*TRAN+ V3.0 操作説明書・導入編

最初に、お読みください。 インストール、セットアップ、システム構成等について説明しています。

提供CD-ROM

本製品のプログラム、および、以下の操作説明書は、 CD-ROM 1枚 で提供されます。

- (1) F\*TRAN+ V3.0 操作説明書・導入編
   最初に、お読みください。
   インストール、セットアップ、システム構成等について説明しています。
- (2) F\*TRAN+ V3.0 操作説明書・解説編 操作方法がわからない場合、変換仕様などを知りたい場合に、お読みください。
   (3) F\*TRAN+ V3.0 操作説明書・コマンド編
  - お客様のプログラムから利用する場合などに、お読みください。 コマンドについて詳細に説明しています。
- (4) F \* T R A N + V 3.0 操作説明書・マルチレコード編 マルチレコードレイアウトのファイルを変換する場合に、お読みください。
- (5) F\*TRAN+ V3.0 操作説明書・プログラム応用編
   F\*TRAN+をアプリケーションから利用する場合に、お読みください。

お客様登録カード

ユーザー登録のための用紙です。

必要事項をご記入のうえ、すみやかに弊社あてにFAXでお送りください。登録されていない 場合、サポート・サービスを受けられない場合があります。

## 1.2 ハードディスクへのインストール

## F\*TRAN+ V1.0がインストールされている環境では

F\*TRAN+ V1.0がインストールされているパソコンに、V3.0をインストールす る場合は、つぎの手順で行なってください。

セットアップで必要な情報をメモする(第2章を参照)

V3.0をインストールすると、変換設定が標準の状態に戻ります。変換設定を標準以外で使用する場合は、変更点を確認しておくとよいでしょう。

#### 上書きインストールをする

V1.0がインストールされている環境(V1.0のアンインストールを行なわない)で、V
 3.0のインストールを行ないます。V3.0をインストールする際、V1.0のインストール
 ディレクトリを選択(標準では同じになっている)してください。

V3.0をインストールしても、V1.0で作成したファイル(スクリプトファイル、パラメ ータファイルなど)はインストールしたディスク内に残ります。

## F\*TRAN+ V2.xがインストールされている環境では

F\*TRAN+ V2.xがインストールされているパソコンに、V3.0をインストールす る場合は、つぎの手順で行なってください。

#### 上書きインストールをする

V2.xがインストールされている環境(V2.xのアンインストールを行なわない)で、V
 3.0のインストールを行ないます。V3.0をインストールする際、V2.xのインストール
 ディレクトリを選択(標準では同じになっている)してください。

V3.0をインストールしても、V2.×で作成したファイル(スクリプトファイル、パラメ ータファイルなど)はインストールしたディスク内に残ります。

F \* T R A N + V 2 . x の変換設定、漢字対応表を引き継ぐ

F\*TRAN+ V3.0を標準のままインストールすると、V2.xの変換設定、漢字対応 表が引き継がれます。変換設定、漢字対応表を出荷時の設定にしたい場合は、インストール時の 「変換設定/漢字対応表を引き継ぐ」のチェックボックスをOFFにして、インストールを行な ってください。なお、V2.xの変換設定を引き継いだ場合には、 第2章 セットアップ を 行なう必要はありませんが、変換設定に誤りがないか確認してください。

### 準備

F\*TRAN+の提供CD-ROMを用意します。

## 作業

(1) インストールプログラムを立ち上げる

<Windows NT 4.0、Windows2000の場合> Windows NT 4.0 または Windows2000を起動します。 システム管理者の資格のユーザでログインします。 例:Administrator (システム管理者の資格のないユーザでは、インストールに失敗します。) 提供CD-ROMをドライブにセットします。 F\*TRAN+のインストールプログラムが自動で起動します。

#### <Windows98、Windows95の場合>

Windows98 または Windows95を起動します。 提供CD-ROMをドライブにセットします。 F\*TRAN+のインストールプログラムが自動で起動します。

#### (2) インストールプログラムの選択

以下のインストールプログラムの選択を行ないます。

- ・F\*TRAN+のインストール
- ・Acrobat Reader のインストール

最初に「F\*TRAN+のインストール」ボタンをクリックします。

200	
	Version 3.0
FujitsuBS	Copyright (c) Fujitsu BSC 1997-2000 (TEL) 03-5445-2101 (FAX) 03-5445-2109 (HOMEPAGE) http://www.bsc.co.jp/system/ftra
F*TRAN+ 0	Dインストール
→ <u><i>F</i></u>	左のボタンをクリックして、F*TRAN+のインストールを開 始して下さい。前のパージョンのF*TRAN+がすでにイン ストールされている場合は、インストール先ディレクトリを前 のものと一致させて下さい。
Acrobat Reade	r のインストール
Adobe	F*TRAN+のインストール時に「オンラインマニュアルをイ ンストールする」を選択した場合、このマニュアルを閲覧する には「Acrobat Reader」が必要となります。お持ちでない方は 左のボタンをクリックし、インストールを開始して下さい。
<u>  </u>	<u> </u>

ここをクリックして、「F\*TRAN+」のインストールを始めます。

#### 第1章 インストール ----

#### (3) F\*TRAN+本体のインストール

「F\*TRAN+」のインストールを続行する場合は、 "次へ(N)>"のボタンをクリックします。



名前、会社名、シリアル番号を入力します。通常は、名前と会社名は表示されていますので、 シリアル番号(提供パッケージに同梱)のみを入力します。

ユーザーの情報	×
	名前を入力して下さい。会社名と製品のシリアル番号も 入力して下さい。
	会社名(U): J留士通BSC シリアル番号(S): 50032-99999
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル

「F\*TRAN+」をインストールするディレクトリを決めます。通常は、 表示されているディレクトリのままで、"次へ(<u>N</u>)>"のボタンをクリックします。 インストールディレクトリを変更する場合は、"参照(<u>R</u>)"ボタンをクリックします。



オンラインマニュアルのインストール選択をします。 V2.xからのインストールでは、"変換設定/漢字対応表を引き継ぐ"の選択をします。 チェックボックスのON/OFFによる選択が決定したら、 "次へ(N)>"のボタンをクリックします。



「F\*TRAN+」のプログラムフォルダを決めます。通常は、 表示されているプログラムフォルダのままで、"次へ(N)> "のボタンをクリックします。



ここで、「F\*TRAN+」のインストールが始まります。

「 F \* T R A N + 」のインストールが完了したら、そのままのダイアログの状態で、 " 終了 " ボタンをクリックします。( F \* T R A N + を正常な状態で使用するには、 インストール後に再起動しなければなりません。)



「Acrobat Reader」をインストールしない場合は、 提供CD-ROMをドライブから取り出してください。これでインストール作業は完了です。

<Acrobat Readerをインストールする場合>

オンラインマニュアル表示ソフトウェア「Acrobat Reader」をインストール する場合は、再度、インストールプログラムを立ち上げます。(4ページを参照) インストールプログラムが立ち上がったら、

「Acrobat Readerのインストール」ボタンをクリックし、

~ の手順に従って、「Acrobat Reader」のインストールを行ないます。

37	
	Version 3.0
FujitsuB	Copyright (c) Fujitsu BSC 1997-2000 (TEL) 03-5445-2101 (FAX) 03-5445-2109 (HOMEPAGE) http://www.bsc.co.jp/system/ftran
-F * TRAN+	のインストール 左のボタンをクリックして、F * TRAN+のインストールを開 始して下さい。前のバージョンの F * TRAN+がすでにイン ストールされている場合は、インストール先ディレクトリを前 のものと一致させて下さい。
Acrobat Read	er のインストール F * TRAN+のインストール時に「オンラインマニュアルをイ ンストールする」を選択した場合、このマニュアルを閲覧する

ここをクリックして、「Acrobat Reader」のインストールを始めます。

「Acrobat Reader」のインストールを続行する場合は、 "次へ(<u>N</u>) > "のボタンをクリックします。



「Acrobat Reader」をインストールするディレクトリを決めます。通常は、 表示されているディレクトリのままで、"次へ(<u>N</u>)>"のボタンをクリックします。 インストールディレクトリを変更する場合は、"参照(<u>R</u>)"ボタンをクリックします。

インストール先の選択	×
	も。トアップlは次のフォルダlこ Acrobat Reader 4.05 をインストールします。 このフォルダへのインストールは[ン太へ]ボタンをクリックします。 他のフォルダへインストールする場合は[参照]ボタンをクリックしフォルダ を選択します。 Acrobat Reader 4.05 をインストールしない場合は[キャンセル]ボタン をクリックし終了します。
	インストール先のフォルタ <sup>*</sup> C:¥¥Adobe¥Acrobat 4.0 参照( <u>R</u> )
	< 戻る(B) (次へ(N) > 1+)地

ここで、「Acrobat Reader」のインストールが始まります。

「Acrobat Reader」のインストールが完了したら、

OKボタンをクリックして「Acrobat Reader」のインストールを終了します。



これで、すべてのインストールが完了しました。 提供CD - ROMをドライブから取り出してください。

インストールが完了したら、デスクトップ上の「Acrobat Reader」の アイコンをダブルクリックしてください。

つぎのウインドウが表示されたら、"同意する (<u>A</u>)"ボタンをクリックします。 これで、「Acrobat Reader」が起動できようになります。

ソフトウェア使用許諾契約書	×
下のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。画面を動かすには、Page Do し、し、し、し、し、し、し、し、し、し、し、し、し、し、の、の、の、の、の、の	ownキーを
アドビシステムズ社 Adober Acrobatr Reader エレクトロニック エンドユーザ使用許諾契約 End User License Agreement	
お客様へのご注意 本エンドユーザ使用許諾契約(以下「本契約」)はお客様と米国のAdobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)(以下「アドビ」)との間の契約書(以下「 本契約」といいます)で、本契約に基づいてアドビが提供する本ソフトウェア(以下 に定義)をお客様がインストールまたは使用いただく場合の条件を規定するもの です。お客様が本契約の本文の最後で「同意する」を選択されインストールを続けま すと、お客様によって本契約のすべての条項が同意されたものとみなさせて頂きます。	
下記の条項に同意されない場合は、末尾に指示された方法で「同意しない」を選択して下さ い。「同意しない」を選択された場合には、本ソフトウェア(以下に定義)をインストール	•
使用許諾契約書の全条項に同意しますか? 「同意しない」を選択すると、Acrobatが閉じます。 る]を選択しないと、Acrobatを起動できません。	,同意す
同意する( <u>A</u> ) 同意	むない(D)

## 問い合わせに備えて

インストール時に設定した情報は、F \* T R A N + のヘルプのバージョン情報のウインドウに 表示されます。

Ws-	ジョン情報		×
	F*TRAN+ for Windows9 Copyright (C)	Version 3.00 5/98 & WindowsNT/2000 Fujitsu BSC 1997 - 2000	en e
i	この製品は次の方にライセンスされ	れています:	
	富士 太郎 富士通BSC 沙アル番号:50032-99999		
			OK

これらは、後日の問い合わせのときに必要になります。さらに購入元、購入担当者名、購入年 月日もわかるようにしておけば万全です。

## 補助文書ファイル

F\*TRAN+のインストール後のディレクトリには、本書を補うことがらが書かれたテキス トファイル README.TXT というファイルがあります。 必ずお読みください。

# 1.3 アンインストールの実行

ハードディスクにインストールした、F\*TRAN+をアンインストール(削除)する場合は、 つぎの方法で実行してください。

アンインストールプログラムを実行する

(1)Windows98、Windows95の場合

Windows98 または Windows95を起動します。

スタートメニューより、設定(<u>S</u>) コントロールパネル(<u>C</u>)をクリックします。

	💼 ጋግታኝፈ( <u>P</u> )	•
	※ お気に入り( <u>A</u> )	•
	── 最近使ったファイル(型)	•
	<mark>縣</mark> : 設定(5)	▶ 🔤 コントロール ハ°ネル( <u>C</u> ) (愛) フッリンタ(P)
		<ul> <li>▶ ■ タスク バーと [スタート] メニュー(①</li> <li>○ フ+ルダ オブション(E)</li> </ul>
	<i>,</i> ≪ ^µ7°( <u>H</u> )	<ul> <li>アクティブ デスクトップ(<u>A</u>)</li> </ul>
86	2011 ファイル名を指定して実行(R)	🌯 Windows Update
gows	Fujitsu BSC ወበሶオን(L)	
W	🜒 Windows の終了(U)	
	z9-F 🛛 🥭 🛃 🖳 🧶 💋 📗	

"コントロールパネル "のダイアログが表示されたら、

"アプリケーションの追加と削除"のアイコンをダブルクリックします。



"アプリケーションの追加と削除のプロパティ"のダイアログが表示されたら、

アプリケーション一覧の中から"F\*TRAN+"をクリックし、

"追加と削除(<u>R</u>)"のボタンをクリックします。

アプリケーション(	の追加と削除	のプロパティ			? ×
インストール	と削除 Wi	ndows ファイル	起動ディスク	1	/
2	フロッピー デ ストールする	イスクまたは OD-F には、「インストール	ROM から新し(、 ] をクリックして・	ヽアプリケ∽ ください。	ーションをイン
				インス	ŀ−ルΦ
3	次のソフトウ したり、その 削除] をクリ	ェアは自動的に削 構成ファイルを変更 ックしてください( <u>T</u> )	除できます。ア 「するには、一覧	プリケーシ 這から選ん	ョンを削除 」で「18加と
F*TRAN F*TRAN2 IBM Glob IBM ProT IBM ViaV JEF拉張 Microsoft Microsoft Microsoft	2000 al Network I ALKER 97 oice 98 黄字サポート Excel 97 Speech AP: Visual C++ Visual Sour	Dialer 4.16.1 J 130 5.0 rceSafe V5.0		追加と	▲ ■ ■ ■ ■
		ОК	キャンセ	ν	適用( <u>A</u> )

- "ファイル削除の確認"のダイアログが表示されたら、
- " はい (<u>Υ</u>)" ボタンをクリックします。
- F\*TRAN+のアンインストールプログラムが起動し、アンインストールが始まります。



アンインストールが完了したら、"ОК"ボタンをクリックします。



第1章 インストール ――

(2)Windows NT 4.0、Windows2000の場合

Windows NT 4.0 または Windows 2000を起動します。

スタートメニューより、設定(<u>S</u>) コントロールパネル(<u>C</u>)をクリックします。



"コントロールパネル"のダイアログが表示されたら、

"アプリケーションの追加と削除"のアイコンをダブルクリックします。

ארמעב 🖻	/\*ੈੈੈੈル				_ 0	×
ファイル( <u>F</u> )	編集( <u>E</u> )	表示⊙	ヘルフ <sup>°</sup> ( <u>H</u> )			
			*	0		
PC カード (PCMCIA)	) )	१९७७ १९७७ य	ッケーションの ヨカロと肖川除	インターネット	<u></u> <u></u> <u></u> + - <u></u> - + ' - +'	-
26 個のオフミ	ジェクト					_//

"アプリケーションの追加と削除のプロパティ"のダイアログが表示されたら、 アプリケーション一覧の中から"F\*TRAN+"をクリックし、





第1章 インストール ――

Windows NT 4.0の場合は、追加と削除(<u>R</u>)ボタンをクリックします。 Windows2000の場合は、変更/削除(<u>C</u>)ボタンをクリックします。

"ファイル削除の確認"のダイアログが表示されたら、

"はい(Y)"ボタンをクリックします。

F\*TRAN+のアンインストールプログラムが起動し、アンインストールが始まります。

ľ	ファイル削除の確認				
	?	選択したアプリケーションとそのすべてのコンボーネントを完全に削除しますか?			
		<u>(現1100)</u> しいえ(10)			

アンインストールが完了したら、"ОК"ボタンをクリックします。



第1章 インストール・

# 1.4 オンラインマニュアルについて

スタートメニューより、プログラム(<u>P</u>) F - T R A N + オンラインマニュアル(コマン ド編 / 解説編 / 導入編 / マルチレコード編 / プログラム応用編)を選択すると、つぎのウインド ウが表示されます。

オンラインマニュアルはすべて、「Acrobat Reader 4.0 J J 上で表示され、印刷もできます。「<math>Acrobat Reader J のおもな操作方法は、つぎのとおりです。



ファイル(<u>F</u>)メニューの中に印刷機能があります。マニュアルの印刷を行なう場合は、 印刷設定(<u>R</u>)をしてから、印刷(<u>P</u>)を行なってください。

しおり(マニュアルの目次)が表示されています。表示されている見出しをクリックすると、 の表示がクリックした見出しの内容になります。

- の表示が開始ページの内容になります。
- の表示が前ページの内容になります。
- の表示が次ページの内容になります。
- の表示が最終ページの内容になります。

「Acrobat Reader」の操作方法等につての詳しい説明を見ることができます。 の表示方法を選択するボタンが3つあります。

ここに、マニュアルの内容が表示されています。

スクロールバーを動かして特定ページの頭出しをすると、の表示内容が変わります。 ここをクリックして、「Acrobat Reader」を終了します。

## オンラインマニュアルの印刷

オンラインマニュアルは、F\*TRAN+を使いながら立ち上げて見ることができますが、プリンタをお持ちであれば、オンラインマニュアルを印刷することをお勧めします。

第2章

セットアップ

第2章 セットアップ -

# 2.1 セットアップとは

インストールがすんだら、つぎの作業は「セットアップ」です。F\*TRAN+でいうセット アップとは、コード変換表ファイルを選択・修正して、利用者ごとの運用形態に合わせる作業の ことです。

セットアップは何度でもできる、する

セットアップは、ふつうインストール直後に1回だけ行ないます。しかし、何度やり直しをしてもかまいません。運用形態が変わったり、相手ホストがかわったりしたときに、よくセットアップのやり直しが必要になります。

第2章 セットアップ

# 2.2 コード変換表とは

F\*TRAN+の動作を決める重要なファイルである、コード変換表(ファイル)について説 明します。

コード変換表 (ファイル)とは

コード変換表とは、ANKコードや漢字変換方式の設定、EBCDIC変換に使うANK変換 表などが記録されている、拡張子が.CCTのファイルのことです。

コード変換表ファイルというときと、単にコード変換表というときがあります。コード変換表 ファイルというときは、メモリに読み込まれる前のディスク上のコード変換表を指します。単に コード変換表というときは、ディスク上にあるときの状態とメモリに読み込まれた状態の総称で す。

通常、コード変換表ファイルは、F\*TRAN+の起動時にインストールディレクトリからメ モリに読み込まれます。F\*TRAN+は起動時に読み込んだコード変換表を参照してANK変 換、漢字変換、数値変換などを行ないます。これがないと、F\*TRAN+は動作を決めること ができません。そのため、

コード変換表ファイルが見つからないとF\*TRAN+は起動すらできない

という制約があります。

出荷時にはつぎのコード変換表が提供されています。

<汎用機・オフコン用>

F - T R A N . C C T	汎用機・オフコン用(標準)のコード変換表
F . C C T	富士通方式用のコード変換表(F-TRAN.CCTと同様)
Н.ССТ	日立方式用のコード変換表
Ν. С С Τ	NEC方式漢字変換用のコード変換表
ΝΑ. ССΤ	NEC方式ANK変換用のコード変換表
Т.ССТ	東芝方式用のコード変換表
Ι. С С Τ	IBM方式用(標準)のコード変換表
I 2 . C C T	IBM方式用(コードページ 290/1027)のコード変換表
IORG.CCT	IBM方式用(オリジナル)のコード変換表
М.ССТ	三菱方式用のコード変換表
U . C C T	日本ユニシス方式用のコード変換表

<Unix用>

UNIX.CCT	Unix用(標準)のコード変換表
U - EUCJP.CCT	e u c J P - o p e n 用のコード変換表
U - F U . C C T	富士通U90系用のコード変換表
U - F S . C C T	富士通Sファミリ用のコード変換表
U - F D . C C T	富士通DSシリーズ用のコード変換表
U - I . C C T	日本IBM AIX用のコード変換表
U - Н . С С Т	日立用のコード変換表
U - N . C C T	NEC用のコード変換表
U - S U N . C C T	サンマイクロ Soralis用のコード変換表
U - НР . ССТ	日本HP用のコード変換表

<Windows用>

WIN.CCT Windows相互変換用(標準)のコード変換表	
---------------------------------	--

ふつうは、この中からホストのタイプに合ったコード変換表を選択し、自社用にセットアップ して使います。なお、利用者がさらに別のコード変換表を作って使うこともできます。 第2章 セットアップ —

# 2.3 コード変換表の出荷時設定

標準提供のコード変換表ファイルについて、出荷時の設定がどのようになっているか説明しま す。

コード変換表の出荷時設定(汎用機・オフコン用)

F - TRAN.CCT

汎用機・オフコン用(標準)のコード変換表ファイルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ) JIS8/ASCII	
漢字変換方式	富士通JEF方式(ほか、10数種類が登録ずみ)	
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定	
コメント	「標準設定」	

#### <u>F.CCT</u>

富士通のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファ イルです。出荷時の設定は、上のF-TRAN.CCTとほぼ同じです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)   JIS8/ASCII
漢字変換方式	富士通JEF方式(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「富士通方式用」

<u>H.CCT</u>

日立のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイ ルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ) JIS8/ASCII
漢字変換方式	日立KEIS方式(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「日立方式用」

<u>N.CCT</u>

NEC方式の漢字変換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。 NEC内部コード(E)を扱うときは、このコード変換表をお使いください。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ) JIS8/ASCII
漢字変換方式	NEC JIPS(E)方式(ほか、9種類が登録ずみ)
ANK変換表	NEC方式。ただし英小文字は英大文字に変換する
コメント	「NEC方式漢字変換用」

NA.CCT

NEC方式のANK変換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。 漢字変換もできますが、NEC内部コード(E)には対応していないのでご注意ください。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ) JIS8/ASCII
	変更しないでください
漢字変換方式	NEC JIPS(E)方式。英小文字が有効
	NEC JIPS(J)
	NEC内部コード(J)も登録ずみ
	(ほか、4種類が登録ずみ)
ANK変換表	NEC方式。修正しないでください
コメント	「NEC方式ANK変換用」

<u>T.CCT</u>

東芝のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

ANKコード	JIS8/ASCII JIS8/ASCII
漢字変換方式	東芝方式(漢字コードはJIS)
	(ほか、4種類が登録ずみ)
ANK変換表	あるが、使わない
コメント	「東芝方式用」

第2章 セットアップ ――

I.CCT / I2.CCT / IORG.CCT

IBMのシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

A N K コード 漢字変換方式 A N K 変換表 コメント	EBCDIC(カタカナ) JIS8/ASCII IBM漢字方式(ほか、4種類が登録ずみ) ほぼ標準的と思われる設定(3種類)
I.CCT	「IBM方式用(標準)」
I2.CCT	「IBM方式用(コードページ209/1027)」
IORG.CCT	「IBM方式用(オリジナル)」

I.CCTとI2.CCTは、ANK変換表がIBM社の規格で改訂されています。カタカナ 版では、英小文字は英大文字に変換します。

IORG.CCTはV2.5に添付されていたIBMホスト用のコード変換表ファイルです。

<u>M.CCT</u>

三菱のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)	JIS8/ASCII
漢字変換方式	三菱MELCOM方式(ほか、	10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定	
コメント	「三菱方式用」	

<u>U.CCT</u>

日本ユニシスのシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換 表ファイルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ) JIS8/ASCII
漢字変換方式	日本ユニシスLETS - J方式
	(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「日本ユニシス方式用」

――― 第2章 セットアップ

コード変換表の出荷時設定(Unix用)

Unix用のコード変換表はつぎのような名称(コメント)になっており、

UNIX.CCT	「標準設定(Unix)」
U - EUCJP.CCT	「eucJP‐open用」
U - F U . C C T	「富士通U90系用」
U - F S . C C T	「富士通Sファミリ用」
U - F D . C C T	「富士通DSシリーズ用」
U - I . C C T	「日本IBM AIX用」
U-Н.ССТ	「日立用」
U - N . C C T	「NEC用」
U-SUN.CCT	「サンマイクロ Soralis用」
U - Н Р . С С Т	「日本HP用」

漢字変換方式は、EUCコードに設定されています。それぞれのコード変換表は、メーカ固有の漢字対応表情報を持っています。

コード変換表の出荷時設定(Windows用)

Windows用のコード変換表はつぎのような名称(コメント)になっており、

WIN.CCT 「標準設定(Windows)」

漢字変換方式は、シフト」ISに設定されています。

第2章 セットアップ -

# 2.4 セットアップの手順

セットアップの手順

セットアップ作業は、つぎの手順で行ないます。

(1.F\*TRAN+を起動する。)

2.変換設定メニューの「ホスト選択」を行なう。

- 3.変換設定メニューの「変換設定」を行なう。
   提供時の設定で問題なければ、変更する必要はありません。
   以下の項目を環境に合うように設定・確認してください。
  - コメント / ホストのタイプの設定
     漢字変換方式の設定
     漢字対応表の設定
     ホストCOBOLベンダの設定
     Windows COBOLベンダの設定
     ホストエンディアンの設定
     ANKコードの設定
     ANK変換表の編集
- 4.コード変換表の保存
   設定が完了したら、コード変換表をハードディスクに保存してください。
   (保存しないで、試行することも可能です。)
- (5.F\*TRAN+を終了する。)

以上です。

スタートメニューより、プログラム(<u>P</u>) F - T R A N + をクリックして、F \* T R A N + を起動してください。(アイコン登録しておけば、アイコンをダブルクリックすることで、F \* T R A N + を起動できます。)

# 2.5 ホスト選択

最初に、メニューバーの変換設定(<u>S</u>) ホスト選択(<u>H</u>)をクリックし、つぎのウインドウ を開きます。ここで、基準となるホストを選択します。

	$\wedge$		
ホスト選択			×
汎用機·オフコン用(A)	Unix用( <u>B</u> )	Windows相2	至変換用( <u>C</u> )
コメント / ホストのタイプ 濃葉設定の川田線・オフコン 富士通方式用 日立方式用 IBM方式用(標準) IBM方式用(ロートベーン29 IBM方式用(オリシナル) 三菱方式用 NEC方式漢字変換用 NEC方式ANK変換用 東芝方式用 日本ユニシス方式用	□ F-T F.C0 H.C4 ICC 0/1027) I2.C IOR M.C N.C4 N.C4 N.C4 N.C4 U.C	ド変換表ファイル名 RANCCT CT CT CT CT GCCT CT CT CT CT CT CT	
▶ 次回もこの設定を使用	する( <u>N</u> )	ок	++>tu

ホスト系を汎用機・オフコン用(<u>A</u>) Unix用(<u>B</u>) Windows用(<u>C</u>)のボタンで 選択します。

選択できるホストのタイプが表示されるエリアです。

使用しているホストに合った項目をクリックして選択します。

実際に設定されているコード変換表ファイル名が表示されるエリアです。

選択したホストの情報を保存するためのチェックボックスです。

次回にF\*TRAN+を起動した時に、選択したホストを基準にする場合は、ONにします。 一時的にホストを変更する場合は、OFFにします。デフォルトは、ONです。

セットアップでは、ONのままにします。

の選択が完了した状態でOKボタンをクリックすると、基準となるホストが確定します。 キャンセルボタンをクリックすると、ホスト選択を中止します。

## 2.6 変換設定

つぎに、メニューバーの変換設定(<u>S</u>) 変換選択(<u>S</u>)をクリックし、つぎのウインドウを 開きます。ここで、コード変換に関する設定等をします。

換設定(汎用機・わコン用)	<u>×</u>
コート変換表ファイル名: O:¥FTRANF¥F-TRAN.CO	T
コメント/ホストのタイフ。(C): 標準設定()、用機・オフコン)	
_ 漢字教換方式(4)	
UFF ···· 富士通 JFF (12ポイント)、	KT/K0=28/28
Windows vs 富士通 JEF F	KKT
▶ 有効(型)	対応表設定(M)
Windows COBOL^ንጵናው:	
富士通 … Power COBOL97(85)	<b>_</b>
ホストエンディアン( <u>N</u> ):	
ビッグ(正順)	
ANK3-1*(A):	
EBCDIC(/by/b)	マッフ"解析[⊻]
	ji i Jim Jim
ANK変換表編集(型)   保存して閉じる(S)	OK

読み込まれているコード変換表のファイル名が表示されています。

コメントの変更ができます。

コード変換表は、漢字20文字(半角40文字)以内のコメントをつけることができます。
 漢字変換方式の選択項目です。どの漢字変換方式を使うかを割り当てます。
 漢字変換方式の設定変更ボタンです。漢字変換方式の設定内容を細かに変更できます。
 漢字変換時に使われる漢字対応表を選択することができます。
 選択されている漢字対応表を有効にするチェックボックスです。
 漢字対応表エディタを起動するボタンです。漢字対応表の修正ができます。

ホストがUnix、Windowsの場合、ホストCOBOLのベンダを選択します。

ホストCOBOLのゾーン形式データを変換する時に重要になります。

Windows COBOLのベンダを選択します。

Windows COBOLのゾーン形式データを変換する時に重要になります。

ホストエンディアン(ホストの2進項目のデータ格納順)を選択します。

ANKコードの選択項目です。ホスト系が、JIS8/ASCII系か、EBCDIC系か を設定します。EBCDIC系の場合、カタカナ版か英小文字版の選択をします。

ANK変換表の編集ボタンです。

6つのANK変換表(1バイト単位のコード変換表)の表示・修正ができます。

コード変換表の書き込み(保存)を行ない、変換設定のウインドウを閉じます。

修正したコード変換表を元のファイルに書き戻したり、

別の名前のコード変換表としてディスクに書き込んだりします。

OKボタンをクリックすると、修正した変換設定が有効になります。ただし、

あくまでメモリ上の変更であり、コード変換表ファイルに書き込まれるわけではありません。 キャンセルボタンをクリックすると、修正した変換設定を無効にし、 変換設定のウインドウを閉じます。

マップ解析の機能をON/OFFするチェックボックスです。デフォルトは、OFFです。 詳細は、操作説明書/マルチレコード編を参照してください。

## コメント / ホストのタイプの設定

コード変換表にはコメント / ホストのタイプをつけておくことができます。セットアップ内容 を反映したコメントをつけておくと、安全な操作が期待できます。

## 漢字変換方式の設定

漢字を扱うなら、必ずこの設定をしなければいけません。

ホストの漢字コード体系は各社各様で、統一された方式はありません。そのために、利用者が F\*TRAN+に、どの方式で漢字変換するのかを教えてやらなければいけません。コード変換 表には、あらかじめ数種類の漢字変換方式が登録されています。そのなかから、適するものを選 択してください。

#### 適する漢字変換方式がないとき

適する漢字変換方式がないときは、新規作成を選択し、似た設定のものを参照してアレンジし、 自分で新しい漢字変換方式を登録する必要があります。

#### 漢字変換方式の詳細設定

適する漢字変換方式(または新規作成)を選択したら、詳細設定(<u>D</u>)ボタンをクリックして、 設定の詳細を確認します。

<ホストが汎用機・オフコンの場合>

漢字変換方式設定 (汎用機・オ	(עבר) 🗙
名前(11):	JEF
⊐xント©:	富士通 JEF(12ポイント), KI/KO=28/29
ANK⊐''ド'( <u>A</u> ):	EBCDIC
漢字コード(近):	JIS + 8080
漢字イン型:	28
漢字アウト(◎):	29
シフト節約度( <u>S</u> ):	中 ▼ (Win→ホストファイル変換時)
ホスト漢字スペース( <u>B</u> ):	半角×2(4040)
Win漢字スペース(W):	¥角×2(2020)
ホスト拡張漢字( <u>F</u> ):	″=″変換 <u>▼</u> =の代替( <u>G</u> ):  =
Win拡張漢字:	『="変換固定 =の代替(出): =
参照( <u>R</u> ) 削腳	k(D)OK τ

<ホストがUnixの場合>

漢字変換方式設定(EUC)	×
名前(N):	EUC
⊐x2+(©):	[EUC⊐−ド
ホスト漢字スペース(B): (Win→ホスト)	全角 (A1A1) 「 置換する(A)
Win漢字スペース( <u>W</u> ): (ホスト→Win)	全角 (8140) _ 厂 置換する⑤)
半角力タカナ(K): (Win→ホスト)	SS2(8E)+カナコート <sup>*</sup> マ =の代替の: =
未定義力タカナ: 休スト→Win)	『="変換固定 =の代替(2):  =
ホスト拡張漢字( <u>F</u> ):	「=″変換 ▼ =の代替(G):  =
Win拡張漢字:	『="変換固定 =の代替(出):  =
参照( <u>R</u> ) 削除	余(D) OK キャンセル
	V

<ホストがWindowsの場合>

漢字変換方式設定(シフトJIS)	×
名前(N): SJIS	
⊐メント(©): [シフトJIS	
ホスト漢字スペース(B): (Win→ホスト) 全角 (8140) _ 【 置換する( <u>A</u> )	
Win漢字スペース(W): 全角 (8140) 置換する(S)	
参照(R) 削除(D) OK キャンセル	
	]

必要であれば、変更します。設定変更の操作自体は簡単ですが、その意味・内容はわかりにくいものです。操作説明書 / 解説編の4 . 1 2「変換設定」の説明を読んでから、変更を行なってください。

変更の必要がないなら、キャンセルボタンをクリックしてください。

第2章 セットアップ ――

## 漢字対応表の設定

漢字変換時に使われる漢字対応表を設定します。漢字体系に合った漢字対応表を選択し、有効 のチェックボックスをONにします。通常は、ホスト選択をした時点で、そのホストに対応した 漢字対応表が設定されていますので、変更する必要はありません。

## ホストCOBOLベンダの設定

ホストCOBOLのゾーン形式データを変換する場合は、この設定が重要になります。つぎの 7種類から選択できます。選択しないこともできます。

富士通	Power COBOL97(85)
日立	C O B O L 8 5
NEC	C O B O L 8 5
メラント	MICRO FOCUS COBOL *
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : - Dca)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : -Dci)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : - Dcm)

\*)ホストがWindowsの場合は、

メラント Net Express (MICRO FOCUS COBOL) です。

### Windows COBOLベンダの設定

Windows COBOLのゾーン形式データを変換する場合は、この設定を行ないます。 つぎの7種類から選択できます。選択しないこともできます。

富士通	Power COBOL97(85)
日立	C O B O L 8 5
NEC	C O B O L 8 5
メラント	Net Express (MICRO FOCUS COBOL)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : ‐Dca)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : ‐Dci)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : -Dcm)

## ホストエンディアンの設定

2進形式データを変換する場合は、この設定を行ないます。ホスト2進形式のエンディアン(格納順)をつぎのどちらかに設定します。

ビッグ(正順)

リトル(逆順)

#### ANKコードの設定

ANKコードの設定とは、ホストの(ホストファイルの)ANKコード系として、

EBCDIC(カタカナ)コード EBCDIC(英小文字)コード JIS8/ASCIIコード

のどれかが使われているかを設定することです。より正確には、データ交換の相手システムが EBCDICコードを基本とするシステムか、JIS8/ASCIIコードを基本とするシステ ムかを設定することです。ANKコードの設定は、

ANK文字の変換(Ank変換)

だけでなく、

スペースコードの決定 ゾーン形式の数値項目の変換(Zone変換) パック形式の数値項目の変換(Pack変換)

などにも影響します。とても重要な設定であることを忘れないでください。

大部分のホストは、EBCDIC(カタカナ)コードを採用

しています。

#### 参考...

EBCDICは「エビスディック」と、少しなまって読みます。 JIS8/ASCIIは「ジスハチ/アスキー」です。 また、ANKは「アンク」です。 第2章 セットアップ —

ANK変換表の編集

6枚のANK変換表があります。必要であれば、修正を行ないます。操作はごく簡単です。

## コード変換表の保存

ここまでのセットアップ処理はメモリ上で行なわれているにすぎません。つぎからの起動時に もセットアップ作業を有効にするには、それをディスク上のコード変換表ファイルに書き戻して、 保存する必要があります。変更点がなければ、キャンセルボタンをクリックして変換設定を終了 します。

保存して閉じる(<u>S</u>)ボタンをクリックすると、"ファイル名を付けて保存"ウインドウが開きます。通常は、このまま、保存(<u>S</u>)ボタンをクリックします。

セットアップ結果を別の名前のコード変換表に保存したい場合

仮に、X.CCTという名前のコード変換表として、インストールディレクトリに保存したい とします。それには、保存(<u>S</u>)ボタンをクリックして、"ファイル名を付けて保存"ウインド ウを開き、ファイル名にXを入力してから、保存(<u>S</u>)ボタンをクリックします。

その後、変換設定のホスト選択でX.CCTを選択します。

第3章



第3章 システム構成

# 3.1 動作OSと動作環境

F\*TRAN+ V3.0 は、つぎの条件で動作します。

#### 動作OS

Windows 98 Windows 95 Windows NT Server 4.0 Windows NT Workstation 4.0 Windows 2000 Professional (パソコンの機種は問いません)

動作環境

画面解像度	800×600以上		
メモリ	1 6 Mバイト以上のメ	モリがあれば動作可能	
ハードディスク	ハードディスク領域を	約20Mバイト 占有	
	「プログラム関連	約 5 Mバイト	
	マニュアル関連	約15Mバイト	

#### <最新情報の確認について>

最新情報は下記のホームページにてご確認ください。

・ホームページ :http://www.bsc.co.jp/system/ftran/

第4章

# バージョンアップ内容

# 4.1 バージョンアップ内容

F\*TRAN+ V2.5 から V3.0 へのバージョンアップ内容は、つぎのとおりです。

## OLEオートメーションに対応

OLEオートメーションに対応し、利用範囲が格段に広がりました。

- ・F\*TRAN+をユーザアプリケーションの「部品」として使用することができます。
   いままでのコマンド行方式では困難であった処理も柔軟に構築できます。
- ・ホストファイルのデータをExcelの指定領域へ流し込む処理のサンプルプログラム等 が添付されています。

## Unix Windowsのデータ変換をサポート

F\*TRAN+では、ホストとして汎用機やオフコンをターゲットとしてきましたが、 V3.0からはUnixもサポートしました。

- Unixデータ(可変長/固定長ファイル)とWindowsデータの相互変換ができます。
- ・Unixで一般的に使用されているEUC漢字コードを本格サポートし、さらにベンダ固有 の拡張漢字の変換もできます。
- ・富士通のPowerCOBOL97(85)、日立のCOBOL85、NECのCOBOL
   85、メラントのMICRO FOCUS COBOL、AcucorpのAcuCOBOL
   などのUnix上で動作するCOBOLデータの変換ができます。
- ・従来のWindowsCOBOL4種類(富士通のPowerCOBOL97(85)、日立のCOBOL85、NECのCOBOL85、メラントのNet Express(MICR O FOCUS COBOL))に加えてAcucorpのAcuCOBOLをサポートしました。これにより、Unix Windows間のCOBOLデータ移行を柔軟に行なうことができます。

## Windows Windowsのデータ変換をサポート

Windowsデータ間の変換をサポートしました。 固定長テキストファイル / CSV形式ファイル / ランダムファイル間の相互変換ができます。 レコード加工 / 編集などを簡単に行なうことができます。

## 2進数値データ変換をサポート

COBOLのCOMP-5、Visual Basic、C/C++などの2進数値データ 変換をサポートしました。これにより、文字/ゾーン/パック/2進数値データ間で柔軟に 変換できます。

第5章

タッチ&トライ

#### 第5章 タッチ&トライ —

# 5.1 ホスト Winファイル変換

実際にサンプルデータを使って、ホストファイル"Planet"をWindowsファイル "Planet.get"に変換する作業を試して見ましょう。ここでは、ホストが汎用機・オ フコンであると想定しています。

スタートメニューより、プログラム(<u>P</u>) F - T R A N + をクリックして、 F \* T R A N + を起動します。起動すると、つぎのメインウインドウが立ち上がります。 起動時には、ホスト Winデータファイル変換(プリント形式)の状態になっていますが、 これから行なう作業はホスト Winデータファイル変換(プリント形式)なので、 このままの状態から始めます。(下図の のところを確認してください。)

🥂 F*TRAN+	
ファイル(E) ソール(T) 変換設定(型) 変換時ログ表示(K) ヘルフ°(H)	Section and the section of the secti
ホスト → Winファイル変換   Win → ホストファイル変換	_
ホストファイル名(D: C#FTRANP¥*.* 参照(Y)	ホスト、 Win
Winファイル名(W): C¥FTRANP¥*.get 参照(Z)	
	A State of the second
【Win変換方法】	
● テキストファイル⊗ ● データファイル(D) ● ランダムファイル(B)	マップ設定(P)
	□ 変換結果表示(\/)
レコード長(1): 256 📑	
	「 問合わせ・確認(Q)
- Winオ デション	
出力形式(Q):  プリント 詳細(E)	変換( <u>G</u> )
コード 変換表 ファイル:F-TRAN.CCT (標準設定(汎用機・オフコン))	
ANK コード: EBCDIC (加加力) 漢字変換方式: JEF WinCOBO	L:富士通
ヘルフ <sup>6</sup> を表示するには [F1] を押してください。	NUM

変換するホストファイル名(<u>I</u>)を指定します。ファイル名がわかっている場合は、 ホストファイル名の欄に"C:¥FtranP¥Planet"のように入力しますが、 ファイル名がわからないという前提で操作を行ないます。 ホストファイル名の参照(<u>Y</u>)ボタンをクリックすると、 つぎのホストファイル参照ウインドウが開きます。

A 07						<b>9</b> V
梦照						<u> </u>
ファイルの場所①:	🔄 Ftranp		•	🖻 💆		8-8- 0-0- 8-8-
🗃 Jis2ibm8.kct	🔊 Kktedit.gid	🔛 N.kkt		🐻 Priget	tosv.bat	H 💽
i≣i Jupiter.txt i≣i Kanjieuc.txt	M.cct	🗯 Na.cct 🗭 Planet		🔄 Priget	tcsv.p tprn.bat	
🗒 Kanjitbl.txt	M.kkt	Selanet.cs	.v	🗿 Priget	tprn.p	I 💽
KKTedit.cnt	MultiRec.p	Planet.pri	n	🐻 Priget	tran.bat	F 💿
Kktedit.exe	M.cct	Planet.ra	n	🕘 Priget	tran.p	<u>-</u> 1
₹						►
ファイル名(N):	Planet				7711	,選択(E)
ファイルの種類(工):	すべてのファイル(*.*)			•	キャ	ンセル
					フォルタ	`選択(©)
		/				

ホストファイル参照ウインドウが開いたら、ウインドウの中の"Planet"を ダブルクリックします。ダブルクリックすると、ホストファイル参照ウインドウが閉じて、 メインウインドウのホストファイル名(<u>I</u>)のところに"Planet"が指定された状態 になります。

#### 第5章 タッチ&トライ —

🧏 F*TRAN+	_ 🗆 ×
ファイル(E) ツール(T) 変換設定(S) 変換時ロゲ表示(K) ヘルプ(H)	
ホスト $\rightarrow$ Winファイル変換 Win $\rightarrow$ ホストファイル変換	1
ホストファイル名仰: C <sup>¥FTRANP¥Planet</sup> 透照型 ホスト	Win
Winファイル名(W): C¥FTRANP¥*.get 参照(Z) 参照(Z)	
【Win変換方法】	
○ テキストファイル(型) ○ テータファイル(型) ○ ランダムファイル(型) マップ設定	E(P)
「ホストオプション ――――	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	転⊻
	確認(Q)
- Winオプション	
出力形式(0): プツント ▼ 詳細(E) <b>変換((</b>	G)
コード 変換表 ファイル:F-TRAN.COT (標準設定(汎用機・オフコン))	*
ANK コード: EBCDIC (加効ナ) 漢字変換方式: JEF WinCOBOL: 富士通	
ヘルプを表示するには [F1] を押してください。	NUM

Winファイル名(<u>W</u>)の指定は、すでに"~\*.get"と指定されていますので、 このままの状態にします。Winファイル名はホストファイル名を引き継ぐ指定となるので、 "Planet.get"という名前のファイルになります。

マップ設定は、変換するデータの中に漢字やCOBOLの数値項目(パック、ゾーン形式) 日付データ項目が入っている場合のファイルレイアウトを指定します。 マップ設定(P)のボタンをクリックすると、つぎのウインドウが開きます。

マップ設定		X
● 簡易設定(S)	€ 詳細設定(型)	
OK	キャンセル	

簡易設定(<u>S</u>)が選択されていることを確認してOKボタンをクリックすると、 つぎのマップ設定(簡易)のウインドウが開きます。

		\	<b>`</b>								
マップ	設定(簡易)	ホスト → \	Win データファイノ	変換							_ 🗆 ×
編集(E)	・ ツール( <u>T</u> )	12.0									/
10	X Ba 🖉		Q. Win							ок	キャンセル
	タ形式										
	<i>ウリア(</i> 0)	Ank(1)	漢字(2) /	Ank·漢字(3)	数値(4)	ゾーン	・表示(5)	パック・表示(6)	バイナリ(7)	ユーザ <sup>、</sup> - A(8)	ユーザ <sup>*</sup> -B(9)
1 (Y=)	ン・ゾーン(A) /	ኑ°ック・ハ°ック(B)	ゾーン・パック(O) 🖊	パック・ゾーン(D)				年設定(E)	区切記号(F)	日付(G)	BY(H)
表	示・ゾーンの 言	表示・パック(J)	表示・2進(K)	2進·表示(L) 7	~ソ・2進()	かがっ	フー2進(N)	2進・ゾーン(の)	2)進・ハ <sup>®</sup> ック(P)	2進・2進(Q)	所行[反転(R)
	····										
At	las(A)	チェック(C)	-   ※ ダブ)	レクリックで入ナ	コダイアロ	じを聞く			 λ τιμ	⊢ド長の: 256	3
No.		デーが式	入力幅	出力幅	~~"	改行	사사				<u> </u>
1		Ank	2				No.	(惑星番号)			
2		漢字	8				和名				
3		Ank	10				英名				
4	_		9				読み				
<u>5</u>	_	「かっか表示」	u4.3				質重比	(100			
6		リンプ表示	uz -2.1				御生剱	(唯正済) 風 /目ちい+ ヒク		*\	
1		7 7 表示	20				「個八寺の」 「黄々小者	2(兄かり上の 9世・中世	1歳八0月つる	2/	
0		(天子) (在設定)	20				又石の度	34本 1日来 〒・1930-2029	<u></u>		
10	-	区切記是	年日日				< 日付区	<u>- 1000 2020</u> (切り設定・9	- 999-99-99>		
11		日付	vvmmdd	vvvv-mm-dd		<u> </u>	1/ポート提	出年月日			
12			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				10-11 T 12				
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22									-		<u>لح</u>
1											

マップ設定(簡易)ウインドウのNo.1~No.11のデータ形式、入力幅、出力幅を、 つぎのように設定します。

Νo	データ形式	入力幅	出力幅	コメント(入力不要)
1	Ank	2		No.(惑星番号)
2	漢字	8		和名
3	Ank	10		英名
4	Ank	9		読み
5	パック	u4.3		質量比
6	ゾーン	u 2		衛生数(確定済)
7	ゾーン	s 2 . 1		極大等級(見かけ上の最大の明るさ)
8	漢字	20		英名の意味・由来
9	年設定	w 3 0	w 3 0(省略可)	< 1930-2029 >
1 0	区切記号	.(ピリオド)		< 9999.99.99 >
1 1	日付	y y mm d d	y y y y - mm - d d	レポート提出年月日

設定はキーボードを使って直接入力してもよいのですが、つぎのように操作すると、比較的簡 単に行なうことができます。No.1のデータ形式の欄をダブルクリックすると、データ形式等 の入力ウインドウが開きます。

$\setminus$	$\backslash$
データ形式等の入力	×
Ank (1)	······
○ 漢字 ②	
€ Ank·漢字 ③	入力幅 低: 2 🛓
○表示(4) ⑥表示(G)	
○ゾーン ⑤ ○ ゾーン ④	
<b>○ パック ⑥ ^ ○</b> パック ∅ 🦷	
● 2進 ⑦   ● 2進 ④	出力幅 (L): 三
C バイナリ (8)	- ,
• 0 バイガ反転 ⑨	
С 2-サ <sup>с</sup> -А ( <u>А</u> )	
C ユーザーB ( <u>B</u> )	」 ~~ 51用符<<り (₪)
C 年設定 (C)	
C 区切記号 (D)	
○ 日付 (E)	
<b>C</b> BY ( <u>F</u> )	本 や ン セル

Ank(A)をクリックして、データ形式を選択します。

入力幅の をクリックして、入力幅を2にします。

OKボタンをクリックして、設定を確定します。

同様にNo.2~No.11を設定します。

No.5~No.7のパック/ゾーンは、整数部と小数部の指定を行ないます。

No.7のゾーンは、入力符号ありを選択します。

No.9の年設定は、入出力ともにウインドウ方式で1930~を選択します。

No.10の区切記号は、ピリオド(年.月.日)を選択します。

No.11の日付は、入力にyymmdd、出力にyyyy-mm-ddを選択します。

			$\mathbf{n}$				\	\ \	```	$\backslash$			
マップ言	定(簡易)	ホスト → \	Win データファイ	ル変換								_ 0	×
編集(E)	ツール(T)	6.0											
			lo Min									الطريق	
- 1 0										JK		ヤノゼル	1 20
┌変換:	ルビュー -												-11
÷.	a — — " L	0.0575.00											12
( 愛)	兇元ナータ	: C#FTRAN	IP¥Planet										
							· 花(地)	話の)	話しつート	ബ 🗋	ケレコート	20	100
							30.74	H1 (0)	HUDA I		AVA P		14
L													
Atl	as( <u>A</u> )	チェック( <u>C</u> )	※ 変換	ミデータのブレビュ	「一中は編	幕できま	こせん こうしょう		入力加一ド	長①: 25	i6	÷	-
	1 + 0 - 2 - 2	- 2 LTZ-12		111-1-1=				40.1-14	• •				5
No.	₩.Â.Â.Â	7~9形式	人力幅	出力幅	入刀桁	出力桁	_ 変換後データ ( 1,	/10/03-6	)				
. 1		Ank	2		0	0	1						
2		漢字	8		2	2	水星						
3		Ank	10		10	10	MERCURY						
4	ļ	Ank	9		20	20	7-417-						
5		がっク・表示	u4.3		29	29	0.055						
6		サーン・表示	u2		33	37	0						
7		リーン・表示	s2.1		35	39	-2.4						
8	ļ	漢子 (法子)	20	_	38	44	山神〉神の波者						
9		牛該定			58	64							
10			年.月.日		58	64	1000 04 00						
11		비기	yymmdd	yyyy-mm-dd	58	64	1998.04.30	10 10 10	40 40 40	10 10 11		10 10	
12							40 40 40 40 40 4	40 40 40	40 40 40	40 40 41	J 40 40	40 40	
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													-
4	1	1	1	1				1					_
L <u>.</u>													

設定がすべて完了したら、変換プレビューボタンをクリックして見ましょう。 プレビューモードにすると、変換前と変換後のデータを前もって確認することができます。 ここで、マップ設定が正しいかどうかを確認できます。

プレビューモードで、変換前 / 後の切り替えができます。 変換後のデータが正しく表示されているかどうかを確認しましょう。 確認したら、再度の変換プレビューボタンをクリックして、 プレビューモードから入力モードに戻します。

マップ設定が完了したら、OKボタンをクリックしてマップ設定を終了させます。

#### 第5章 タッチ&トライ ――

🙀 F*TRAN+	
ファイル(E) ツール(T) 変換設定(S) 変換時口が表示(K) ヘルフ <sup>®</sup> (H)	
ホスト → Winファイル変換 Win → ホストファイル変換	1
ホストファイル名仰: C¥FTRANP¥Planet 参照(Y)	ホスト Win
Winファイル名(W): C¥FTRANP¥*.get 参照(Z)	
【Win変換方法】 C テキストファイル(2) C ランダムファイル(B)	マップ設定(P)
ホストオブション	
レコード長心: 256 三	▼ 変換結果表示(型) 局合わせ・確認(型)
出力形式(2): プリント 👤 詳細(E)	変換( <u>G</u> )
ANK コード: EBCDIC (加効ナ) 漢字変換方式: JEF WinCOBO	L: 富士通
^ルプを表示するには [F1] を押してください。	NUM

変換後にWinファイル(Planet.get)の内容を表示して確認するために、 変換結果表示(<u>V</u>)のチェックボックスをONにします。

設定がすべて完了しましたので、変換(<u>G</u>)ボタンをクリックします。 変換ボタンをクリックすると変換が始まり、 変換中であることを示す実行ウインドウ(つぎのページ)が開きます。

F*	TRAN+	
1940) 1944	変換開始. C:¥FTRANP¥Planet → C:¥FTRANP¥Planet.get テ゚ータファ仙変換. 変換終了.	<u> </u>
		<b></b>
ŕ		A
		4
	コート <sup>®</sup> 変換表ファイル:F-TRAN.CCT(標準設定(汎用機・打コン)) <u></u> ANKコート <sup>®</sup> :EBCDIC(加加) 漢字変換方式:JEF WinCOBOL:富士通	閉じる

処理が正常に終了したことを確認したら、"閉じる"ボタンをクリックします。

ファイル内容表示	×
ファイル名: C¥FTRANP¥Planet.get	1~
レコート <sup>×</sup> 0 = 0~ 75 0+1234556+7+ 16進High 23989A22224454555222CBBADB222222323332322323889586958C868D22222233332332300 Low 01050F0000D523529000F07D80000000E055000D2E43D0F1A0F2CE7E20000001998E04E30DA 文字表示 1水星 MERCURY マーキュリー 0.055 0 -2.4口神〉神の使者 1998.04.30	
レコート 1 = 0~ 75 0+123+445+6+7+ 16進High 238E9A22225445522222CDBCB22222232333232223238895868A8C9F8C89952233332332300 Low 02B00F000085E5300000BE05D0000000E815000D4E73D0F1A84264C2CF70F001998E08E31DA 文字表示 2金星 VENUS ビッカス 0.815 0 -4.7口神) 愛と美の女神 1998.08.31	10
レコート <sup>*</sup> 2 = 0~ 75 0+1+23+4+56+7+ 16進High 23968822224455422222BBB222222232333232232388849E9622222222222333323323300 Low 032EB50000512480000010D000000001E00001000E02E14152E000000000001998E12E31DA 文字表示 3地球 EARTH アース 1.000 1 0.0 n. 大地 1998.12.31	
レコート <sup>*</sup> 3 = 0~ 75 0+1+2+3+4+55+6+7+ 16進High 238C9A2222445522222CBBD2222223233323223238895869E8A8C9522222233332332300 Low 049E0F0000D123000000F0DE00000000E107020D3E03D0F1A0D222C0F0000001999E04E30DA 文字表示 4火星 MARS マース <sup>*</sup> 0.107 2 -3.0口神〉戦いの神 1999.04.30	
レコート* 4 = 0~ 75 0+1+2+3+445+6+7+ 16)進High 228A969A224554544422BBCDBCD22222333323223288849A868C8622222222333323323300 Low DDFC860F0013452F94001D3B24E000000E00000000E021140FC02C10000000001999E08E31DA	
1	
表示タイプ(D): HEX+文字表示 (Winテキスト&データ)  フォント(E) ファイル出力(P)	OK

実行ウインドウを閉じると、つぎのファイル内容表示ウインドウが開きます。 変換結果を確認してみましょう。確認が終了したら、OKボタンをクリックします。

ホストファイル名仰: C:¥FTRANP¥Planet 参照(公 ホスト Win マ Winファイル名(W): C:¥FTRANP¥*get 参照(2) 参照(2)
【Win変換方法】 ● テキストファイル ② ● データファイル ② ● ランダムファイル 图 マップ設定 ⑨…
ホストオプション レコード長(L): 256 量 レコード長(L): 256 量
Winオプション 出力形式(Q): プツント
コート <sup>®</sup> 変換表 ファイル:F-TRAN.CCT (標準設定(汎用機・オフコン)) ANK コート <sup>®</sup> : EBCDIC (功効ナ) 漢字変換方式: JEF WinCOBOL: 富士通

これでホスト Winファイル変換の一連の操作は終了しましたが、 いままでに設定した内容をスクリプトファイルに保存することができます。 保存する場合は、メインウインドウの"保存"のボタンをクリックします。 保存設定のウインドウが表示されたら、OKボタンをクリックし、 "名前をつけて保存"のウインドウが表示されたら、ファイル名を入力し、 保存(S)ボタンをクリックします。設定が保存されます。

保存したスクリプトファイルは、"開く"ボタンをクリックすれば、 いつでも呼び出すことができます。そして、エクスプローラからダブルクリックするだけで、 F\*TRAN+のメインウインドウを開かずに自動実行させることができます。

第6章

# サポートについて

#### 第6章 サポートについて ――

# 6.1 サポートについて

#### <お問い合せ先>

使用方法、不具合などのお問い合せは、弊社サポートセンターにお願い致します。 また、可能な限り次ページの質問票に必要事項を記入の上、FAXしてください。

電話番号	03-	5 4	47	6	-	2	9	26											
FAX番号	03-	5 4	44	5	-	2	1	09											
e-mail	ΗΗG	i 0 '	17	7	6	@	n	i f	ty	. I	٦e	•	j	р					
サポート時間	平日	9	: 0	0	~	1	2	: 0	0、	1 :	3:	0	0	~	1	7	:	0	0
						( ]	±۴	Ξ、	祝祭	日、	がナ	社	休	31	よ	お	休	み	)

0

56

(㈱富士通ビー・エス・シー プロダクツ&サービス事業部 サポートセンター 行き

FAX:03-5445-2109

TEL:	03-	5476	5 - 2 9	926		
受付日	平成	年	月	日	時	分
受付者						

<u>F\*TRAN+ 質問票</u>

会社名	住所   〒
11当者	
	FAX Ver 3.0 シリアル No
ホスト	富士通 M K F9450 他
機種	日 立 M 他
	NEC ACOS 3100 N5200 他
	三 菱 EX MELCOM80 他
	東 芝 TP DP V Q 他
	IBM 汎用機 AS/400 他
	Unix系
	富士通 IBM 日立 NEC サンマイクロ HP 他機種:
	その他
O S	
コード系	JIS8/ASCII系 EBCDIC系 Unix 他
データ内容	ANK 漢字 数値 ゾーン パック BCD 日付 バイナリ 他
漢字	JIS 系( 東芝 JIPS(J) JIPS(E) 内部コード(J) 内部コード(E) 他)
	JIS+8080系( JEF KEIS MELCOM LETS-J 他) IBM 他
パッション 機種	
רבע <i>א</i> OS	Windows 98 95 2000 Professional NT4.0 (Server Workstation)
パソコン	Visual Basic Ver Access Ver( Access Basic)
ソフト	Visual C++ Ver Excel 1-2-3 富士通 PowerCOBOL97(85)
	日立 COBOL85 NEC COBOL85 Net Express(MICRO FOCUS COBOL)
	AcuCOBOL その他
テータ形式	可変長テキスト 固定長テキスト たたの固定長(フンダム)
住田地谷	
使用機能	$\pi_{AF} = \pi_{AF} + \pi_{F} + \pi_$
	$\pi_{AF} = \pi_{JF} \pi_{AF} (GetData)$ with $\pi_{AF} = \pi_{JF} \pi_{AF} (PutData)$
	MAT WITT シング ムノデイル (Get Rand) WITT MAT シング ムノデイル (Fut Rand) その他
トラブル・	
「フラル 質問の内容	
<u> <u> </u> </u>	
	( 別紙あり 別紙なし)

F\*TRAN+ V3.0 操作説明書・導入編

2000年 10月 第1版発行

編集・著作 株式会社 富士通ビー・エス・シー 所 在 地 〒108-8531 東京都港区芝浦 4 - 15 - 33 芝浦清水ビル プ ロダクツ&サービス事業部 TEL 03 - 5445 - 2101 FAX 03 - 5445 - 2109

- Windows、MS-DOS、Visual Basic、Access、Visual C++、Excel は
   米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Acrobat<sup>®</sup> Reader copyright<sup>©</sup> 1987-1999 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe および Acrobat はアドビシステムズ社の商標です。
- ・会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・本書およびシステムは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・無断複製、および転載を禁じます。
- ・落丁、乱丁はお取り替えいたします。